

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		療育の部屋を分けて、環境を整えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	4		現在は、対一で支援に入ることが出来ている。
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		バリアフリー化としては、トイレのドアの開閉の向きや広さの改善が必要である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	4		会議は行っているのですが、情報共有をしっかりと行っていきたい。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3		送迎を利用されている方とは、なかなか保護者の方と関わりが少ない為、連絡帳や電話等で密に情報共有を行っていく必要がある。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		ホームページに定期的に載せ、公開している。必ず年に一度は自己評価をし、情報共有や、改善へつなげている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3		施設支援やスーパーバイザー派遣を活用し、職員の質の向上に努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			早目に研修参加日を決め、当日の職員調整をしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	5		
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1		ガイドラインの把握が不十分の為、再度確認をおこなう。入社して把握できていない部分があるので、これから勉強していきたい。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1		各児童の支援目標を日誌上に記載し、職員が共通理解できるようにしている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	1	活動を職員間で話し合いながら立案している。特定の職員が立案していることもある為、職員全員で行えると良い。
	14	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7	1		随時、話し合いを試みている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8			保護者の方の意向や利用者さんの発達段階に応じて支援計画を立てている。
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			その日の利用者さんの担当を決め、支援の内容を共有している。	
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	7		支援の振り返りを行い、次につなげている。当日、または次回の利用時までには共有している。	

	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2		支援内容を日誌に記録し、共有している。生活面（食事、排泄）等の記録もやっている。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		半年に一度モニタリングを行い見直しをしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			児童発達支援管理責任者が、担当者会議に参加している。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1		
	22	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	2	1	現在は、医療的ケアの必要な児がいない。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	4	1	現在は、医療的ケアの必要な児がいない。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1		移行へ向けて、保護者、園と情報共有を行い、相互理解を図っている。
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1		
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		内部研修、外部研修に参加し、質の向上に努めている。施設支援やスーパーバイザー派遣を活用している。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	2	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2		連絡ノートや電話連絡で様子を伝えている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・プログラム等）の支援を行っているか	4	4		ペアレントプログラムを行っている。
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			利用前の契約時に説明をおこなっている。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	1		
	保護者への	33	保護者からの子育て悩みに等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	
34		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	11月に交流会を開催予定である。今後、年に1回は必ず開催していきたい。

説明責任等	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		7	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月、おたよりを発行し、ホームページにも載せている。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8			十分に注意している。
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか				災害時の避難場所をお便りに載せ、お知らせをしている。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	1		予防接種の状況の確認までは出来ていない。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		家族からの情報収集で確認をしている。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		口頭での情報共有はできているが、記入が十分にできていないこともある。予測を心掛け、事前予防に努めている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			研修を計画し、職員一人一人に参加を呼び掛けている。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	5			